

令和4年3月16日発生 福島県沖を震源とする地震 被害への対応

令和4年3月16日深夜に発生した福島県沖を震源とする震度6強の地震により、本市は甚大な被害を受けました。

●問い合わせ先 地域防災対策室 (☎37-2121)

市内の被害状況

尾浜地区 (歩道橋の破損)

- 停電 市内全域 (3月17日21時全戸通電)
- 断水 市内全域 (3月23日23時水道安全宣言)
- 建物 ▽全壊56件 ▽大規模半壊18件 ▽中規模半壊59件 ▽半壊92件 ▽準半壊107件 ▽準半壊に至らない(一部損壊)1,253件
- ※罹災証明4月8日現在。(住家、非住家の合計)
- 市の施設 図書館、道の駅そうまなど



今田地区
(道路の亀裂、破損)



鵜ノ尾岬トンネル付近
(壁面の崩落)



西山地区
(相馬第一水源水道配管の破損)



道の駅そうま
(屋根瓦の崩落、破損)



図書館
(本棚の倒壊、蔵書の破損)



西山文化財倉庫
(壁の崩落、倒壊)

市の災害への対応

23 時 36 分 地震発生（マグニチュード 7.4、震度 6 強）

23 時 39 分 津波注意報発令（23 時 47 分津波第一波到達 1 メートル）

23 時 45 分 災害対策本部設置（本部設置後、以下の対応を決定）

●初期対応

	早期に検討すべき事項	対応内容
1	救助依頼者の救出	警察、自衛隊、消防署などへの協力要請
2	避難所の開設	被災者受け入れのため避難所を開設
3	被災状況の確認	道路などのインフラおよび公共施設の被害箇所の把握など
4	断水状況の確認	市内各地域の断水状況の確認、給水車などによる給水
5	市民生活支援	行政区長や消防団の協力、物資の配給など



避難所の開設
（スポーツアリーナそうま第二体育館）

●中長期間対応

	中長期的な検討事項	対応内容
1	避難所の継続開設	避難者の確定、食料の確保、健康管理など
2	廃棄物の集約・運搬	集約場所、麻袋準備など
3	罹災証明の発行	窓口の設置、現地調査など
4	支援受け入れなど	義援金・支援金の口座開設など



災害対策本部会議（3月17日15時）

■市長メッセージ（防災行政無線による放送：一部抜粋）

市長の立谷です。強い地震が起きました。
現在、停電中ですが、倒れた家具などでけがをしないように十分に気を付けてください。
なお、東日本大震災のような大きな津波は発生しておりません。
また、市内に大きな火災も発生しておりません。
しかし、相馬市内の救急2病院は停電のため治療ができない状態にあります。もし深いけが、出血を伴うようなけがをしている場合は、避難所として開設したスポーツアリーナそうま第二体育館で応急治療を行います。
自宅の破損、倒壊の危険があるような方は、第二体育館に避難ください。
現在、津波は1メートルくらいですが、海岸部または川の周りへ立ち寄るのは控えてください。
今、市役所は全力をあげてこの地震に対応しております。

落ち着いて、自分の身の回りの危険をできるだけ避けるように過ごしてください。
どうぞ皆さん落ち着いて、しっかりと前を向いて、へこたれずに地震と向き合ってください。
我々も精いっぱい、この事態に対して、皆さんのためにがんばります。我々と一緒に地震を乗り越えるよう、力を合わせていきましょう



3月17日0時30分ころ

支援をいただいた行政機関など

■給水車・応援職員など（応援職員は派遣予定を含む）

※順不同。

給水車	福島県福島市	福島県白河市	東京都稲城市	三重県名張市	大阪府泉佐野市
	滋賀県米原市	新潟県牛乳輸送株式会社		—	—
給水支援	陸上自衛隊	海上保安本部福島海上保安部		国土交通省東北地方整備局	
応援職員 ※ 給水支援 および罹 災調査。	北海道大樹町	北海道豊頃町	北海道喜茂別町	岩手県宮古市	岩手県花巻市
	山形県	山形県鶴岡市	福島県	福島県福島市	茨城県龍ヶ崎市
	茨城県笠間市	埼玉県本庄市	千葉県千葉市	千葉県柏市	千葉県流山市
	千葉県君津市	千葉県富津市	群馬県安中市	新潟県三条市	富山県滑川市
	石川県能登町	福井県大野市	長野県伊那市	岐阜県中津川市	三重県名張市
	大阪府泉佐野市	大阪府河南町	滋賀県米原市	和歌山県海南市	鳥取県
	広島県広島市	香川県高松市	愛媛県西条市	熊本県熊本市	熊本県高森町



給水車による給水支援



巡視船による給水支援



自衛隊による給水支援（病院）

■支援物資（3月17日～24日）

※順不同。

支援自治体名など		支援内容
市町村	福島県福島市	水（500 ミリリットルペットボトル 2,000 本）
	福島県白河市	給水袋 5,000 枚
	福島県南相馬市	クラッカー、おにぎり各 1,000 個
	福島県広野町	ブルーシート 40 枚
	山形県尾花沢市	水（500 ミリリットルペットボトル 2,000 本）
	千葉県流山市	水（1.5 リットルペットボトル 2,296 本など）、ブルーシート 20 枚、給水袋 1,000 枚
	静岡県静岡市	水（475 ミリリットルペットボトル 11,520 本）
	大阪府高槻市	水（500 ミリリットルペットボトル 3,600 本）
	愛媛県西条市	ブルーシート 500 枚
国	国土交通省 関東地方整備局	ブルーシート 700 枚、土のう袋 360 枚
		ブルーシート 290 枚、土のう袋 6,000 枚
団体	連合福島	水（2 リットルペットボトル 150 本）
	日本赤十字社	マットレス 90 セット



支援物資の受け入れ



ブルーシートの配布

※このほかにも多くの方から温かいご支援をいただいています。

復旧に向けた市の動き



水道管の修繕工事（水道企業団）



消防団の協力による物資の配給



罹災証明書の申請受け付け



公共施設の安全確保（中村二中）



応援職員による罹災調査



ボランティアによる支援



燃やすごみの集積



災害廃棄物の集積

地震などの自然災害で被災したとき

●災害直後は命を守る行動を

まずは身の安全を確保してください。停電の暗闇の中での片付けは危険です。明るくなるまで、安全な場所で身を守ってください。

●市の公式 SNS などを活用ください

より早く情報を伝えるため、災害時は主に防災行政無線や防災メール、市ホームページ、市公式 SNS（ツイッター、ライン）で市の情報を発信しています。周囲に SNS の利用になじみのない高齢の方や、災害によりスマートフォンなどが使えない状況の方がいた場合には、SNS などで得た情報を伝達ください。協力をお願いします。

●防災行政無線がよく聞こえないとき＝電話応答装置（☎ 0180-992-992）

●片付けの前に被害箇所の写真撮影を

罹災証明書の申請などに必要です。安全が確保されたら、安全な場所から写真を撮りましょう。無理に屋根などに上って撮影する必要はありません。

スマートフォンで撮った写真は市内の写真店やコンビニエンスストアなどで印刷できます。

●日ごろから災害の備えを

災害はいつ、どこで起きるか分かりません。災害が起きても慌てずに行動できるよう、避難ルートの確認、飲料水や食料の備蓄、家具の転倒防止など、事前に備えておきましょう。